

北海道から 秋田県へ

氏名 牧井太宏

北海道室蘭栄高等学校 → 秋田県立秋田南高等学校
(期間：平成28年4月1日～平成30年3月31日)

1 派遣先の学力向上等の取組

○秋田県の取り組み

・思考力養成セミナーの実施

県内の高校から参加希望者を募り、夏休みの3日間を利用して県が所有する研修センターでセミナーを行っていた。内容は、予備校から数学、英語、理科の講師による講習と秋田県出身の東大生から勉強法や受験に向けた心構えを聞ける交流会がメインであった。また、夕食後は食堂を自習場所として開放し、各高校からの引率教員や招いた東大生に質問、相談できる環境を整えていた。

○東北地方の取り組み

・東大100人会

東北地方から東京大学への合格者が100人を切ったことをきっかけに、再び合格者を100人以上にしようということで発足した。東北6県から有志が集まり、各高校での東大を目指すための進路指導や学習指導の情報交換を行っている。

○秋田南高校での取り組み

・勉強マラソン

休みの日に自習室を開放し、1日10時間の自習できる環境を整える。見学旅行明けや長期休業中など、生徒の意識を切り替えさせたいときに設定し、参加者を募って実施していた。

2 北海道に戻って実践したいこと

○パソコンを活用した授業

秋田南高校では、プロジェクターやスクリーンが十分な台数あったので、PCを使った授業を行っていた。PCを使うことで写真や動画など生徒に提示できるものが増え、授業の工夫の幅が増した。今後もPCを活用し、授業改善していきたいと考えている。

○生徒の主体性を引き出す工夫

これは具体的な内容ではなく、自分自身が今後模索し続けていかなければならないことである。秋田南高校に勤務して、一番感じた自分自身の欠点は「生徒にやらせようとしていること」であった。秋田南高校の先生たちは、生徒が進んで取り組むにはどのようにすればいいかを考え実践していた。教員がそのように取り組むことで生徒たちの主体性が育まれていくと感じている。